



一目均衡表(1) 一目均衡表とは

Vol. 46 2008/1/10



「一目均衡表」は、一目山人こと故細田悟一氏(都新聞、現在の東京新聞)が1930年代に考案した相場分析の手法です。相場は売り手と買い手のいずれかが勝ち、いずれかが負けているかを知るだけで十分で、両者の均衡が破れた方へ大きく動き、「相場の帰趨は一目瞭然である。」との意味合いから一目均衡表と名づけられました。一目均衡表と言えば上の図のような転換線、基準線、そして先行スパン1と先行スパン2の間を塗りつぶした抵抗帯が有名ですが、これは一目均衡表の一部でしかなく、一目均衡表は以下の三大骨子(3つの論理体系)から成り立っています。

- (1) 相場の転換時期を予測する時間論
- (2) 相場の天井や底を形成する価格の目処を予測する値幅観測論(水準論)
- (3) 値動きのパターンを把握す波動論

一目均衡表はその独創性から国内外を問わず数多くの投資家から愛され、相場を手がける方々にとって必須のツールとなっています。

まず、どのようにして作図されるのか知っておきましょう。一目均衡表は、ローソク足と5本の線から成り立っています。

- (1) **転換線** 当日を含む過去9日間の最高値と最安値の中間値を当日の転換値とする。
 - (2) **基準線** 当日を含む過去26日間の最高値と最安値の中間値を当日の基準値とする。
 - (3) **先行スパン1** 転換値と基準値の中間値を先行スパン1とし、当日を含む26日先に記入します。
 - (4) **先行スパン2** 当日を含む過去52日間の最高値と最安値の中間値を先行スパン2とし、当日を含む26日先に記入します。
- 先行スパン1と先行スパン2を塗りつぶした部分を「抵抗帯」とか「雲」と呼びます。
- (5) **遅行スパン** 当日の終値を当日を含む26日前(過去)に記入し、遅行スパンとする。

今回より、10回程に分けて一目均衡表の基本について特集していきます。次週は、基準線と転換線についてです。

金融商品取引法に基づく重要な注意事項

〔当社の概要〕 商号等：丸三証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号
加入協会：日本証券業協会

〔手数料等の概要〕

上場有価証券等に関する手数料等の概要

- ・「一日コース」による株式の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.084% (30万円以下の場合 252円) の委託手数料をいただきます。
- ・「銘柄コース」による株式の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.105% (20万円以下の場合 210円) の委託手数料をいただきます。
- ・「夜間取引」による株式の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.105% (100万円以下の場合 1050円) の委託手数料をいただきます。
- ・上場有価証券等のうち転換社債型新株予約権付社債(CB) の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.105% (100万円以下の場合 1050円) の委託手数料をいただきます。
- ・株式を募集・売出し等により取得する場合は、購入対価のみのお支払となります。
- ・信用取引により株式等を売買する場合は、上記委託手数料とは別に、委託保証金として売買代金の 40% 以上かつ 30万円以上の預託が必要となります。その他に管理費及び権利処理費等をいただきます。また新規買付の場合、買付代金に対する金利を、新規売付の場合、売付株券等に対する貸株料及び品貸料をいただきます。

投資信託に関する手数料等の概要

- ・投資信託の購入等にあたりお客様にご負担いただく費用として、申込手数料(申込時に直接ご負担いただく費用)、信託財産留保金(換金時に直接ご負担いただく費用)、信託報酬(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)などがあります。
- ・これらの費用は商品毎に異なりますので、詳細は各商品の目論見書又は当社ホームページの各商品ページをご確認ください。

〔リスクについて〕

上場有価証券等に関するリスク

- ・株価の変動等により損失が生じる恐れがあります。外国株式は、為替相場の変動等により損失が生じる恐れがあります。
- ・転換社債型新株予約権付社債(CB)は価格の変動等により損失が生じる恐れがあります。また権利行使できる期間や条件に制限があります。
- ・信用取引では委託保証金の額に対して最大 2.5 倍の投資が可能です。したがって信用取引においては損失の額が預託した委託保証金の額を上回る可能性があり、投資元本以上の損失が生じる恐れがあります。

投資信託に関するリスク

- ・主な投資対象が国内株式である投資信託の基準価額は、組み入れた株式の値動きにより上下しますので、これにより投資元本を割り込む恐れがあります。
- ・主な投資対象が円建て公社債である投資信託の基準価額は、金利の変動等による組み入れ債券の値動きにより上下しますので、これにより元本を割り込む恐れがあります。
- ・主な投資対象が株式・一般債にわたっており、且つ、円建・外貨建の両方にわたっている投資信託の基準価額は、組み入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込む恐れがあります。
- ・これらのリスクは商品毎に異なりますので、詳細は各商品の目論見書又は当社ホームページの各商品ページをご覧ください。

〔契約締結前交付書面等について〕

各商品等のご購入のお申込にあたりましては、当社より所定の契約締結前交付書面(投資信託においては目論見書及び目論見書補完書面)を交付いたします。書面をよくお読みいただき内容を十分にご理解いただいたうえでお申込いただきますようお願いいたします。